

夢をカタチに——多摩区が進めば川崎がススム!

夢がススム

世界から人々が集まる
一大観光拠点を
生田緑地・向ヶ丘遊園跡地に。

- 登戸駅や向ヶ丘遊園駅を中心とした広域的なまちづくり。
- 多摩川や生田緑地をはじめ文化・教育施設の活用や区内3大学との連携。
- 向ヶ丘遊園跡地を活用し、温泉施設、留学生との交流の場、多摩サイエンスパーク事業の拠点、国際会議も可能なホテルの誘致。
——実現へ取り組んでいきます。

福祉がススム

<実現しました>

- 日本初の認知症専門病院「かわさき記念病院」の開設。



- 新百合ヶ丘総合病院の開設。
- 市内医療機関・福祉事業所で介護ロボットHALが利用可能に(川崎市とサイバーダイン株式会社が協定締結)。
- 市バスに「ベビーカーマーク」導入。
- 街頭のLED化で女性も安心の街づくり。

<推進します>

- 最先端のガン治療病院整備。
- 南武線に女性専用車両導入。

多摩区周辺MAP



豊富な地域実績— 見た、聞いた、すぐ動く

- 宿河原駅、久地駅がバリアフリー化。橋上駅舎化へ。
- 登戸駅前広場の整備充実。
- 稲生橋交差点のスクランブル化が実現。

——地域の皆様の声をカタチにしてきました。



▲コミュニティバス「あじさい号」が運行開始!

環境政策 にも率先!

- 川崎国際環境技術展の推進。
- 世界環境ネットワーク(12カ国)に参加。
- 100万本植樹運動の推進。
- 水素社会の実現へ全力。
- 多摩川の環境整備、生物多様性の保全。

教育がススム

<実現しました>

- 小学校での英語教育を全国に拡大。



▶小学校での英語の授業風景

- 中学校での完全給食を平成29年度より実施。
- 多摩区内3大学と連携した生涯学習講座。

<推進します>

- 3大学と連携して子ども達に充実した教育環境を。
- ゆとり教育を見直し学校週6日制を導入。

経済がススム

<実現しました>

- 羽田国際空港と川崎市を結ぶ連絡橋を東京五輪開催までに建設。
- 中小企業対策(融資制度、経営相談、情報発信)の充実。
- 若者の就職支援制度の充実。

<推進します>

- 商店街やスポーツ振興による多摩区の活性化。
- 世界初の商用水素発電所を川崎臨海部に建設。
- ライフサイエンス分野の研究機関や企業を誘致し、国際戦略拠点を形成。



▶介護ロボットHAL